

表3 労働関連心理社会的リスクの決定要因の概念的枠組み及び影響

マクロ的コンテキスト		心理社会的労働環境			健康影響 (系統的レビュー& メタ分析に基づく証拠)	組織的影響 (系統的レビュー&メ タ分析に基づく証拠)
		側面	心理社会的 要因	心理社会的ハザード (心理社会的要因は心理社会的ハ ザードが危害を引き起こす可能性)		
<b>政治的コンテキスト:</b> -ガバナンス -安定vs不安定な 政治システム -政治的力関係	<b>政策コンテキスト:</b> -健康 -社会保護 -経済・貿易 -教育 -環境 -労働政策(労働 規制、反差別 規制、労使 関係) -労働安全衛生 (OSH)	<b>組織の 文化&amp;機能</b>	心理社会的 安全風土(組織 の方針、経営陣 の意識・心理社 会的リスクの優 先順位付け、労働 者の協議・参加)、 安全風土、 心理的安全性、 リーダーシップ・ 管理慣行、コミ ュニケーション プロセス、明確 な組織目標、組 織変更管理	心理社会的 安全風土の欠如、 リー ダーシップ・管理 慣行の欠如、手 続的・相互的正義 の欠如、差別的慣 行・スティグマ、 組織の信頼の欠如、 コミュニケーション 不足、組織目標に 関する定義・合意 の欠如、価値観の 不一致、組織変更 管理の欠如、官僚 主義的文化	CHD[虚血性心疾患]、燃え尽き症候 群、睡眠障害、不安、うつ病、ストレス、 怪我	欠勤、職場復帰、病 気就労、退職意向、 障害退職、事故、 職務満足感、業績、 生産性、労働エン ゲージメント、転 職意向
		<b>職務内容</b>	労働タスク、ス キルの活用、労働 の多様性、感情 的要求、認 知的要求	変化に乏しく刺激 が少なく単調な 労働、短い労働 サイクル、不明瞭 で断片的なまたは 意味のない労働 タスク、スキルの 過小活用、高い不 確実性、労働を通 じた人々との継続 的接触(すなわち、 扱いにくい顧客、 学生、患者)、高 い感情的要求、道 徳的傷害	不安、ストレス、 CHD、糖尿病、燃 え尽き症候群、睡 眠障害、自殺念慮、 自殺、向精神薬の 使用、MSD[筋骨 格系障害](全部 位)、腰痛、首/肩 痛、上肢痛	欠勤、病気就労、 障害退職
<b>社会的コンテキスト:</b> -社会的態度(メ ディアを含む) -市民参加 -社会対話 -労働者代表/労働 組合の密度 -労働人口の属性 (例えば年齢、ジェ ンダー、脆弱集団)		<b>労働量&amp; 労働ペース</b>	労働量レベル、 労働量計画、 労働編成、量 的要求、新技術 の適用、労働 ベース/労働 強度、デッドライ ン、新技術使用 における訓練、 人員配置	過剰または過少な 労働、情報過多、 設計の不十分な 労働量のシフト、 デジタル技術の適 用に関連した労働 組織・労働プロ セスの設計の不 十分な変更、テ クノロジー過多、 機械・コンピュー タのペース、高 いレベルの時間 的圧力、労働の 激化、常にデッ ドラインに追われ る、不適切な人 員配置	CHD、ストレス、 脳卒中、虚血性 脳卒中、出血性 脳卒中、末梢動 脈疾患、糖尿病、 肥満、運動不足、 アルコール摂取、 喫煙、睡眠障害、 自殺念慮、向精神 薬使用、MSD(全 部位)、腰痛、首/ 肩痛、上肢痛、 がん(すべて)、 大腸がん、肺がん、 乳がん、前立腺 がん、食道がん、 クロウン病、潰瘍 性大腸炎 注:職務ストレ インの影響を含む	欠勤、職場復帰、 病気就労、障害 退職、生産性、 労働エンゲージ メント、革新性、 転職以降 注:職務ストレ インの影響を含む

マクロ的コンテキスト		心理社会的労働環境			健康影響 (系統的レビュー& メタ分析に基づく証拠)	組織的影響 (系統的レビュー&メ タ分析に基づく証拠)
		側面	心理社会的 要因	心理社会的ハザード (心理社会的要因は心理社会的ハ ザードが危害を引き起こす可能性)		
<b>経済的コンテキスト:</b> -グローバリゼーション-マクロ経済の安定 -福祉国家モデル	<b>労働市場のダイナミクス:</b> -完全雇用-失業 -賃金/適切な収入 -不安定・非正規雇用 -児童労働 -奴隷・債務労働 -人間と機械の相互作用 -スキル開発/雇用可能性 -ギグエコノミー	<b>労働スケジュール</b>	交代制労働、労働時間、労働慣行、労働スケジュール計画、労働アレンジメント、複数の仕事に就労	(とくに不規則な) 交代制労働、夜勤、融通の利かない労働スケジュール、予測不可能な労働時間、長時間または不規則な時間帯の労働、不本意な残業	CHD、うつ病、不安、ストレス、脳卒中、動脈性不整脈、静脈血栓塞栓症、糖尿病、肥満、運動不足、アルコール摂取、喫煙、睡眠障害、向精神薬の使用、流産、早産、妊娠高血圧腎症、妊娠高血圧症候群、在胎年齢に対して過少、低出生体重、がん(すべて)、大腸がん、肺がん、乳がん、前立腺がん	欠勤、病气就労、退職、生産性、労働エンゲージメント
		<b>管理 [コントロール]</b>	意思決定プロセス、労働量・労働タスク・労働の方法・場所・ペースに対する管理、アルゴリズム・デジタル監視の使用、データ管理	意思決定への参加の低さ、労働量・労働タスク・労働ペースに対する管理不足、労働者の能力に見合わないレベルの自主性、継続的なアルゴリズム管理、デジタル監視	CHD、脳卒中、虚血性脳卒中、出血性脳卒中、末梢動脈疾患、糖尿病、肥満、運動不足、喫煙、アルコール摂取、不安、うつ病、ストレス、燃え尽き症候群、睡眠障害、自殺念慮、自殺、向精神薬の使用、MSD(全部位)、腰痛、首/肩痛み、上肢痛、下肢痛、がん(すべて)、大腸がん、肺がん、乳がん、前立腺がん、食道がん、クローン病、潰瘍性大腸炎 注:職務ストレインの影響を含む	欠勤、職場復帰、病气就労、退職以降、退職、病气障害退職、生産性、労働エンゲージメント、職務満足感 注:職務ストレインの影響を含む
<b>技術的コンテキスト:</b> -デジタル化 -オートメーション -ロボット化 -AI	<b>OSHインフラ:</b> -OSHの執行 -労働衛生サービス -教育・能力(労働監督の専門技能を含む)	<b>環境&amp;設備</b>	物理的労働条件、環境条件、セキュリティ条件、労働設備、技術の利用、労働アレンジメント(例えばハイブリッドワーク)	不十分な設備の利用可用性、適合性またはメンテナンス、オートメーションによるテクノストレス、新しい設備・技術の使用に関する適切な訓練の欠如、遠隔地・孤立労働、スペース不足・照明不足・過剰な騒音などの劣悪な環境条件、極端な身体的条件または状況での労働、紛争地域・自然災害地域などの不安定な環境での労働、トラウマティックな出来事または素材への曝露	CHD、高血圧、虚血性心疾患、脳卒中、MSD、身体的傷害、事故、不安、燃え尽き症候群、うつ病、ストレス、PTSD、自殺	欠勤、退職意向

マクロ的コンテキスト		心理社会的労働環境		健康影響 (系統的レビュー& メタ分析に基づく証拠)	組織的影響 (系統的レビュー&メ タ分析に基づく証拠)	
		側面	心理社会的 要因			心理社会的ハザード (心理社会的要因は心理社会的ハ ザードが危害を引き起こす可能性)
<b>技術的コンテキスト:</b> -デジタル化 -オートメーション -ロボット化 -AI	<b>OSHインフラ:</b> -OSHの執行 -労働衛生サー ビス -教育・能力 (労働監督の 専門技能を含 む)	<b>労働におけ            る対人関係</b>	上司・同僚・顧 客/サービス利 用者との関係 を含め労働に おける対人関 係の質、チーム ワーク、上司・ 同僚からの社 会的支援、対 立に対処する 方針・手続、多 様性・包括性	社会的または物理的な孤立、上司・ 同僚・顧客/サービス利用者との関 係の悪化、対人関係の葛藤、社会的 支援の欠如、暴力、ハラスメント、い じめ/サイバーいじめ、無礼、差別	糖尿病、うつ病、ストレス、燃え尽き症候 群、不安、睡眠障害、自殺念慮、自殺、 向精神薬の使用、MSD(全部位)、腰 痛、首/肩痛、上肢痛、下肢痛	欠勤、職場復帰、病 気就労、退職意向、 障害退職、生産性、 職務満足感、労働エ ンゲージメント、離職 意向
		<b>組織にお            ける役割</b>	役割・責任、目 標設定、職業 上のアイデン ティティ	役割の曖昧さ、役割の対立、人々に 対する責任、不明確/不安定な職 業上のアイデンティティ	CHD、燃え尽き症候群、うつ病、不安、 ストレス	欠勤、病気就労、労 働エンゲージメント
<b>生態的コンテキスト:</b> -気候変動を含め た環境条件 -安全・安定的な 環境		<b>キャリア            開発</b>	キャリアの見通 し、スキルの活 用・開発、フィ ードバックの仕 組み、訓練・学 習の機会、給与 体系、報酬・評 価、職務の安定 性、評価システ ム、評価・報酬 目的でのアルゴ リズムの使用	キャリアの停滞・不確実性、プロ モーションの不足または過剰、努力 -報酬不均衡、フィードバック・訓練・ 学習機会の欠如、低賃金、ワーキン グプア、マイクロワーク、職務不安・ 不安定な労働、継続的な労働の憊 さ・不安定な労働、労働に対する社 会的価値の低さ、屈辱的な労働、評 価システムの不適切な使用・アルゴ リズムによる官僚主義	CHD、糖尿病、うつ病、燃え尽き症候 群、不安、ストレス、睡眠障害、自殺念 慮、向精神薬の使用、MSD(全部位)、 腰痛	欠勤、病気就労、障 害退職、生産性、労 働エンゲージメント、 転職意向
		<b>家庭-労働            の両立</b>	ワークライフバラ ンスに関する組 織の方針・慣行 (例えばフレック スタイム、育 児休暇)	労働と家庭の間の相反する要求、 家庭でのサポート不足、デュアルキャ リア・ボーダーレスキャリアから生じる 問題、絶え間ない労働者の流動性	ストレス、睡眠障害、向精神薬の使用	欠勤、生産性、転職 意向